



市議会ホームページ



市議会公式Facebook



<http://www.city.oyabe.toyama.jp/shiseijyouhou/shigikai/index.html>



<https://www.facebook.com/oyabe.gikai/>

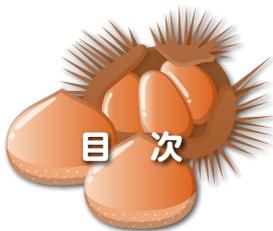
## 早めの準備 早めの行動を

いのちを守るためには、日頃からの備えと迅速な避難が重要です。

ハザードマップなどの防災に関する情報は、こちらの小矢部市ホームページからご確認になれます。▶



(写真：北蟹谷地区で行われた小矢部市総合防災訓練の様子)



### 目次

補正予算の概要	2	代表・一般質問	7～12
副議長就任挨拶	2	市外からの行政視察	12
人事案件・特別委員会の設置	2	次回議会日程	12
審議経過・委員会報告等	3	閉会中委員会開催状況	13
審議議案・議員別賛否状況等	4～5	会務報告	13～14
議員構成	6	編集後記	14

## 「議会報告会」のお知らせ

市議会では、市議会の活動を報告し、市民のみなさまと意見交換を行うため、議会報告会を開催します。どうぞお気軽にお越しください。※事前申込みは必要ありません。

- 日 時 令和元年11月26日(火) 午後6時30分～午後8時
  - 場 所 総合会館 正得公民館 水島公民館 (同日3会場で開催)
  - 内 容 ①議会からの報告 ②「人口減少社会の対策」と「災害対策」に関する意見交換
- 問い合わせ 議会事務局 電話 67-1760 (内線322) FAX 68-0194  
Eメール [gikai@city.oyabe.lg.jp](mailto:gikai@city.oyabe.lg.jp)

# 一般会計補正予算・条例制定改廃など

## 21議案を議決しました

9月3日から20日までの18日間を会期として9月定例会を開会しました。9月定例会では、令和元年度小矢部市一般会計補正予算、条例の制定・改正・廃止、小矢部市教育委員会委員の任命同意など22議案が提出され、うち1議案の撤回を承認し、21議案を原案のとおり可決・同意等しました。

なお、平成30年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分及び平成30年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など9議案については、新たに設置した決算特別委員会にて12月まで継続審査とすることになりました。その他、平成30年度小矢部市継続費精算報告などの報告を3件受けたほか、議員派遣を可決しました。

### ◎ 9月補正予算の概要

**議案第34号 令和元年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）**  
**補正額 8,456.5万円 累計予算額 168億2,854 万円**

#### 《主な事業》

- ・老人福祉対策費 1,258.2 万円  
ケアタウンおやべの介護浴槽等の大規模修繕に対して助成を行うもの
- ・放課後児童健全育成費 30 万円  
放課後児童クラブの児童図書を整備するもの（寄附金を活用）
- ・文化財保護費 115.9 万円  
博労町町内会の山蔵の外壁修繕等を行うもの
- ・財政調整基金積立金 6,000 万円

**議案第35号 令和元年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）**

**補正額 10.2万円 累計予算額 1億5,410.2万円**

#### 《主な内容》

決算の確定に伴う土地開発基金積立金の増額

**議案第36号 令和元年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）**

**補正額 2,649 万円 累計予算額 29億7,899 万円**

#### 《主な内容》

決算の確定に伴う基金積立金の増額、システム改修費の増額

**議案第37号 令和元年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）**

**補正額 97.8万円 累計予算額 8億9,117.8万円**

#### 《主な内容》

決算の確定に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増額

※補正予算の詳細は、市ホームページの財政課 予算情報のページをご覧ください。

### 副議長 就任あいさつ



副議長（第56代）

山室 やまむろ

秀隆 ひでたか

このたび、令和元年9月議会におきまして、議員の推挙により、小矢部市議会副議長に就任させていただきました。福島議長のもと、公共施設再編や人口減少対策など、小矢部市が抱える多くの課題に対して真摯に取り組むとともに、議会が公正かつ円滑に運営されますよう、誠心誠意全力を尽くしてまいります。どうか、市民の皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 人事案件

◎小矢部市教育委員会委員の任命同意

古村 正明 氏  
 （西町）

◎小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意

柴田 紀久雄 氏  
 （津沢）

◎人権擁護委員の候補者の推薦

奥川 孝子 氏  
 （安養寺）

中島 正平 氏  
 （末友）

古村 直美 氏  
 （西町）

### 特別委員会の設置

特定の付議事件を審査又は調査するため、次の特別委員会を設置しました。

### 決算特別委員会

平成30年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など9議案を審査するため設置しました。

（委員12名）

# 9月定例会の 審議経過

(会期18日間)

- 3日 本会議
- 5日 本会議(提案理由説明)
- 6日 全員協議会
- 9日 議案調査口
- 10日 議案調査口
- 11日 議会運営委員会
- 12日 本会議(代表・一般質問)
- 13日 本会議(撤回理由説明)
- 17日 公共施設再編特別委員会
- 18日 総務産業建設常任委員会
- 20日 決算特別委員会
- 20日 議会運営委員会
- 20日 本会議(提案理由説明)
- 20日 全員協議会
- 20日 民生文教常任委員会
- 20日 委員長会議
- 20日 本会議(質疑・討論・表決他)

## 委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

### 総務産業建設常任委員会

災害発生時に備えて、地区防災会、消防団等の関係団体との連携を密にして情報交換を行い、マンパワーをもっと有効に活用することにより、迅速な災害初期行動に繋げ、被害を最小限に抑えるための体制づくりに努めること。

また、災害時の応援協定については、避難者が日常生活に戻るためには幅広い協定が必要であることから、民間、地方自治体を問わず、協定締結に向けて積極的に取り組むこと。

### 民生文教常任委員会

一点目は、公共交通について、今定例会にて民営乗合バスの路線便数の増減が報告されたところである。日常生活における通勤・通学や外出時において、市営バスをはじめとする公共交通の充実が強く望まれていることから

利用者の実態に応じた便数を確保し、利用者の増加及び利便性の向上を検討すること。

二点目は、県立石動高等学校について、県立高校再編に伴い、来年度から普通科がクラス増加するが、ホッケー部、野球部等の活躍をはじめ、オリンピック選手の出場など、県立石動高等学校の素晴しさや特徴を市内の子ども達に周知し、県立石動高等学校に関心を持ってもらえるよう、市としても教育機関と連携し、様々な取り組みを検討すること。

## 令和元年度 議長交際費支出内訳表

平成31年4月～令和元年9月(単位:円)

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	14	179,240
① 御祝・寸志	5	31,440
② 激励金	6	126,000
③ 見舞・香典	3	21,800
2 協賛費	13	54,306
3 会費・懇談会費	16	117,804
4 その他	13	198,016
合計	56	549,366
令和元年度予算額		1,300,000
執行率		42.26%

\*小矢部市議会のホームページからもご覧になれます。

## 録画映像配信のお知らせ

小矢部市議会のホームページでは、より多くの皆さんに、定例会や臨時会の本会議をご覧いただけるよう、本会議の録画映像を配信しています。

今般の9月定例会の録画映像も配信しています。

小矢部市議会のホームページの「議会中継(本会議録画映像インターネット配信)」をクリックしてご覧ください。



小矢部市議会 議会中継のページ



QRコード



区 分 (主な内容)		議決結果	林登	竹松豊一	出合和仁	谷口巧	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	砂田喜昭
条例の改正	議案第47号	小矢部市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	撤回承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	議案第48号	小矢部市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正について ・子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴い、引用部分等の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第51号	小矢部市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について ・子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴い、引用部分等の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は表決に 加わりません	○	○	○	○
条例の廃止	議案第49号	小矢部東インター口高速路線バス停留所の設置及び管理に関する条例の廃止について ・小矢部東インター口高速路線バス停留所を使用する事業者が停留所を廃止することに伴い、条例を廃止するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	同意第3号	小矢部市教育委員会委員の任命同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第4号	小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦 (人事案件の概要は2ページを参照ください)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 9月定例会で報告された事項

財政状況	報告第4号	平成30年度小矢部市継続費精算報告
	報告第5号	健全化判断比率の報告
	報告第6号	資金不足比率の報告

## 9月定例会で継続審査とされた議案

その他	議案第50号	平成30年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分について ・地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定により、剰余金の処分を行うもの。
決算認定	認定第1号	平成30年度小矢部市一般会計歳入歳出決算
	認定第2号	平成30年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
	認定第3号	平成30年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
	認定第4号	平成30年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
	認定第5号	平成30年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算
	認定第6号	平成30年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
	認定第7号	平成30年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算
	認定第8号	平成30年度小矢部市水道事業会計決算

## 議 会 議 員 構 成

議 長	ふくしま しょうりき 福島 正力	副 議 長	やまむろ ひでたか 山室 秀隆
総務産業建設常任委員会委員	委員長 義浦英昭 委員 出合和仁 砂田喜昭	副委員長 竹松豊一 吉田康弘 白井 中	福島正力 嶋田幸恵
民生文教常任委員会委員	委員長 藤本雅明 委員 林 登 沼田信良	副委員長 谷口 巧 山室秀隆 加藤幸雄	中田正樹 石田義弘
議会運営委員会委員	委員長 沼田信良 委員 山室秀隆	副委員長 石田義弘 義浦英昭 藤本雅明	中田正樹
公共施設再編特別委員会委員	委員長 義浦英昭 委員 竹松豊一 砂田喜昭	副委員長 出合和仁 山室秀隆 白井 中	嶋田幸恵 沼田信良
人口対策特別委員会委員	委員長 吉田康弘 委員 谷口 巧	副委員長 林 登 加藤幸雄 藤本雅明	中田正樹 石田義弘
決算特別委員会委員	委員長 嶋田幸恵 委員 林 登 義浦英昭	副委員長 吉田康弘 竹松豊一 白井 中	出合和仁 谷口 巧 中田正樹 沼田信良 加藤幸雄 砂田喜昭
議会だより編集委員会委員	委員 義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明 福島正力

## 議 会 選 出 委 員 等

監 査 委 員	石田義弘			
小矢部川中流水害予防組合議会議員	出合和仁	加藤幸雄	白井 中	
砺波地方衛生施設組合議会議員	谷口 巧	吉田康弘	嶋田幸恵	
砺波地方介護保険組合議会議員	加藤幸雄	吉田康弘	中田正樹	嶋田幸恵
砺波地域消防組合議会議員	山室秀隆	義浦英昭	藤本雅明	石田義弘
高岡地区広域圏事務組合議会議員	山室秀隆	中田正樹	沼田信良	
民生委員推薦会委員	山室秀隆	藤本雅明		
国民健康保険運営協議会委員	藤本雅明	石田義弘	砂田喜昭	
上水道審議会委員	山室秀隆	義浦英昭	沼田信良	
公害対策審議会委員	林 登	竹松豊一	吉田康弘	
都市計画審議会委員	竹松豊一	谷口 巧	加藤幸雄	吉田康弘 白井 中
交通安全対策協議会委員	山室秀隆			
ケーブルテレビ放送番組審議会委員	福島正力			
小矢部市土地開発公社理事	竹松豊一	谷口 巧	吉田康弘	
公益財団法人クロスランドおやべ理事	出合和仁	加藤幸雄	吉田康弘	

令和元年 9月12日現在

- ◎おやベルネサンス総合戦略、人口ビジョンについて
- ◎財政問題について
- ◎小矢部市の教育方針について
- ◎観光振興プランについて



会派「誠流」  
藤本 雅明 議員

**【質問】** 小矢部市では、平成21年度に小矢部市定住促進計画を策定し、定住促進助成金制度をはじめとする定住人口増加に向けた様々な施策を展開してきたが、今年の5月ついに人口3万人を割り込んだこの要因について市長の所見を問う。

**【市長】** 日本全体の人口が減少する中で、あくまでも通過点として認識しており、今年度からスタートした第7次総合計画では、人口減少対策を柱に据え、10年後の令和10年の目標人口2万8千200人の達成に向け、若者の定着促進や子育て支援をはじめとする様々な定着促進策に取り組む、人口の維持・確保に努めていきたい。

**【質問】** 人口減少問題は市民が地区の現状を知り、その上で地区別の人口減少対策を当局とともにつくるのが大事である。人口1%取り戻し戦略について、市長の所見を問う。

**【市長】** 1%取り戻し戦略は、小学校区や公民館単位の人口分析をベースに、毎年、人口のおよ

そ1%の移住者を増やすことができれば、地域の人口が安定し、また、地域外で購入している商品の額の1%を地域で消費・循環させることで新たに仕事が生まれるなど、地域の活力が維持できるものである。人口減少対策、移住・定住施策の推進には、その地域に暮らす住民の方々の課題の共有と解決に向けた協働が不可欠であり、改定予定の人口ビジョンの中で地区ごとの将来人口を推計し、各地区に示し官民一体で人口減少問題に取り組む。

**【質問】** 小矢部市の教育方針「生きる力」を育む教育について、そして本市の人づくりの将来像について市長の所見を問う。

**【市長】** 社会が急激に変化している現代にあつて、その変化に対応するとともに、さらにその中にあつてみずからの夢や目標を持つて進んでいくことができる力、それが「生きる力」ではないかと考える。「確かな学力」「豊かな心」「たくましい心身」について、バランスのとれ

た教育を実践することで、子供たちの「生きる力」を育ていきたい。小矢部のよさをしっかりと認識し、いつまでもふるさと小矢部を愛し、ふるさと小矢部を誇りに思いながら、社会で活躍する人材となることを願うとともに、その中で、この小矢部の地で自分の力を発揮したいと思う人材が育つことを期待している。

**【質問】** 昨年は、高岡市で40億円、今年は氷見市が23億円の財源不足になると新聞で報道された。小矢部市でも現在、大型事業が集中していて、市民から、小矢部市は大丈夫なのかと心配する声も聞いている。9月定例会にて平成30年度の財政健全化判断比率の中の実質公債費比率15・1%、将来負担比率174・4%と報告があつたが、これをどう分析し、今後の見通しはどのようになるかと試算しているのか。

**【市長】** 先日、平成30年度決算においての、実質公債費比率については15・1%、将来負担比率については174・4%になると報

告。昨年と比較すると、実質公債費比率については昨年と同数値であり、将来負担比率については、昨年の165・2%に対し9.2ポイント上昇した。この原因については、大型事業に伴い、市債残高が昨年に比べて約17億8千800万円増加。今後の見通しは、実質公債費比率は、令和4年度には17%を超え、令和6年度にはピークを迎える。また、将来負担比率は、大型事業に係る市債の借入れがほぼ終了する今年度末にはピークを迎え、一時的に200%を超えると試算し、ここ数年は高い水準になるが、令和2年度以降は低下していく。今後は事業の選択と集中だけでなく平準化も図りながら、健全な財政運営の維持に努める。



生きる力を育む教育

代表質問



会派「市民報道会」  
出合 であい 和仁 かずひと 議員

**質問** 統合こども園の開園に当たり、既存保育所で行われている地域交流事業の継続や地域との結びつきと連携維持について市長の見解を問う。

**市長** 現在、整備を進めている二つの統合こども園の運営に関しては、地域との連携・つながりを生かし、地域全体で子供を育てる意識の醸成を図ることを基本方針としており、これを十分踏まえ新しい統合こども園の運営を進めていきたいと考えている。

現在、保育所ごとにとどのような形で地域との結びつきや交流事業が行われているか聞き取りし、整理をしており、統合により従前と全く同じ形での地域交流が難しいものもあるが、交流参加の態様や構成など様々な観点から検討を行い、可能な限り現在の地域との結びつきや交流事業を継続する方向で進めていきたいと考えている。

報を記載し、市民の意見を求めたが、市長の小中一貫教育についての見解を問う。

**市長** 小中学校統廃合を検討する上で、中心となる視点は、児童生徒にとって最も望ましい教育環境はどうかあるべきかという点だと考えている。

近年、中一ギャップの解消や新学習指導要領など学習環境の変化に対応するため、小中一貫教育を進める動きが、県内をはじめ全国でも広がりがつつあるが、小中一貫教育の実現と適正規模を目指す学校再編とを同時に取り組んでいる例は少なくない。

現在、小中学校統廃合審議会では、適正な学校規模、これからの学校のあり方について、小中一貫教育に関する調査・検討も含め、幅広くかつ長期的な視野から検討が進められているところであり、今はその検討結果を待ちたいと考えている。

**質問** こども園、小中学校が隣接し、安全で快適な教育環境を確保した教育校区または教育ゾーンの模索は、子供たち、教職

員、地域の方々とのつながりを深め、加えて定住・移住の活性化と人口減少対策の相乗効果が期待されると考えるが、市長の見解を問う。

**市長** 安全で快適な教育環境を確保した教育校区または教育ゾーンを模索していくことは、将来の定住・移住を活性化し、人口減少対策の相乗効果の大切なポイントではないかとの考えについては、指摘の通りであると考えている。そのことから小中学校統廃合の検討においては、未来の小矢部市を担う子供たちのための望ましい学校のあり方について、学習面や地域との関連など総合的に検討することが重要であると思っている。

**質問** 学校教育の充実と小中学校統廃合は市長としての決断・判断が大きく求められるが、その思いを市長に問う。

**市長** 児童生徒の減少が進む中で、学校を取り巻く環境は大きな転換点を迎えており、児童生徒の教育環境はどうかあるべきかについて、学習面・生活面を初

め、地域コミュニティの形成、防災面など、学校が果たす役割も含め多角的な視点から検討するとともに、学校現場、保護者及び地域の意見集約に努めており、学校統廃合の最終的な方向性については小中学校統廃合審議会の答申を受けしっかりと判断したいと考えている。

**質問** 自治会・町内会運営への市職員の積極的な参加と地域諸課題の対応について問う。

**市長** 地域の現状を把握し行政との連絡を密に取れる状況をつくることは非常に重要だと考えており、地域の諸課題を解決していくためにも地域の問題や市民の要望を把握することは非常に重要なことであると考えており、地域行事の参加や市民の要望を把握するようしっかりと職員に呼びかけていく。

- ◎こども園について
- ◎小中学校統廃合について
- ◎職員研修と派遣について

**質問** 小中学校統廃合審議会が実施した市民アンケートの中で、小中一貫教育の形態、内容、情

況、安全で快適な教育環境を確保した教育校区または教育ゾーンの模索は、子供たち、教職

員、地域の方々とのつながりを深め、加えて定住・移住の活性化と人口減少対策の相乗効果が期待されると考えるが、市長の見解を問う。

児童生徒の減少が進む中で、学校を取り巻く環境は大きな転換点を迎えており、児童生徒の教育環境はどうかあるべきかについて、学習面・生活面を初



「若林っ子まとい隊」として地区防災訓練に若林保育所の児童が参加しています。

- ◎高齢者の交通事情について
- ◎外国人労働者の現状と課題について
- ◎訪日外国人旅行者等の取り組みについて



白井 中 議員

**質問** 高齢者運転免許自主返納支援事業の利用者数は年々増加しており、今後も増え続けると財源負担のさらなる増大が見込まれる。制度の見直しについてどのように考えているのか。

**民生部長** 制度の利用は一度きりであることや運転免許証を持つていない方との不公平感など、この事業の課題は多い。利用者数の推移を見守るとともに、他市町村における先行事例等を踏まえて、今後の事業の方向性を検討していきたい。

**質問** 地域の行事や地区の防災訓練などに外国人の参加を促すなど、手を差し伸べてはどうかと感じている。今後の他文化共生への取り組みについて見解を問う。

**企画政策部長** 今後、県と連携を図りながら、市内在住外国人との交流会や多文化共生に対する理解を深める学習・研修会などの施策を検討していく考えである。多文化共生の実現のためには、地域住民の外国人住民への理解が必要不可欠である。

しかし、外国人受け入れに対する法整備は十分でなく、地域へ声がけをする際には、法整備がされた上で行うべきだと考えており、機会を捉え、国に法整備を訴えかけていきたいと考えている。

**質問** 来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、観光地を訪れる外国人旅行者が増えることが予想されている。地方への波及効果も期待をされるが、誘客への取り組みをどのように考えているのか。

**産業建設部長** 観光客受け入れ態勢の整備として、石動駅及びアウトレット内の観光案内所の機能強化、主要な観光スポットへのWiFi-Fiの設置、観光パンフレットと観光案内看板の多言語化などを計画的に進め、訪日客の受け入れ態勢の整備に努めている。



石動駅にある観光案内所



石田 義弘 議員

**質問** ICTやAIを活用したスマート農業について、本市の現状と今後の構想について問う。また、スマート農業を推奨していくに当たり、どのくらいの大きさの田んぼが適切なのか。

**産業建設部長** 本市では、スマート農業の実績はまだないが、今後は、各地域の農業者と話し合いを行い、各地域の課題の解決に向けたモデル事業に取り組み、スマート農業の普及を図ってきたい。また、スマート農業は、ほ場が大区画の方が適しており、引き続き、基盤整備について地区関係者や関係機関と協議を行い、事業の推進に取り組んでいきたい。

**質問** 本市では、豚コレラ対策としてワクチン散布が実施されているが、現在の状況と今後の対応について問う。

**市長** 8月26日に市内25カ所に計500個の経口ワクチンを散布し、9月2日にワクチン回収を行った結果、イノシシへの接種率は56%だった。経口ワクチンは、イノシシが2回接種すると豚コレラの抗体が完全にできるとされており、9月の下旬に2回目のワクチン散布を予定している。

**質問** 本市の耕作放棄地の現状と今後の対策について問う。

**産業建設部長** 耕作条件の悪い農地が耕作放棄地となる傾向にあり、一部の原野化している農地への復旧が困難なものについては農地から除外する手続きを始めている。このような耕作放棄地が増えないように、地域の担い手へ農地の集積を促すことよって耕作放棄地の解消を推進している。また、多面的機能支払制度や中山間地域直接支払制度により水路等の維持や農業者への支援を継続して行うことよって、耕作放棄地発生を抑制していきたい。



スマート農業の時代がすぐそこまで来ています。

- ◎若者の投票率の改善について
- ◎環境負荷の低減について
- ◎国際交流事業について
- ◎まちの賑わい創出について



加藤 幸雄 議員

**質問** 前回の参議院選挙について、本市の若者の投票率と投票率が低い要因、また投票率を上げるための施策について問う。また小中学校から政治に関心を持たせる施策について問う。

**選挙管理委員会書記長**

市全体で約64%と、県内では最も高い投票率であったが、若者では18歳が約48%、19歳が約43%、20歳から24歳までが約36%であった。政治への関心が低く、学生の場合、社会の一員としての意識が稀薄であることが、投票率が低い要因だと考えている。対策として小中学生への選挙啓発ポスター募集や新成人や高校生に対する啓発活動を実施している。今後も選挙に関する出前授業など若者の選挙に関心を高めるための啓発活動を行う予定である。

**質問** 今建設中の新こども園では省エネ、創エネについてどれぐらいの効果も期待しているのか、光熱費についてどれぐらい削減ができるのか、また、環境負荷

への考え方について問う。

**民生部長** (仮称) 蟹谷こども園では先進的省エネルギー建築物実証事業を進めており、高性能断熱材・断熱サッシを導入しエネルギー消費を約半分にする予定である。光熱費の現施設との比較については床暖房や厨房のオール電化など諸条件が違い、現時点での積算は難しい。環境負荷の低減については市環境保健衛生協議会を中心として取り組んでいく。

**質問** 新図書館でのまちの賑わい創出及び市民サービスについて問う。

**教育委員会事務局長**

新図書館の基本理念「気軽に立ち寄って、居心地よく、学べる図書館」として中心市街地への集客に寄与できる施設として取り組む。しかし、職員配置の点で住民票交付などの市民サービスの提供は難しい。



建設中の(仮称)蟹谷統合こども園

- ◎Society5.0について
- ◎特別の教科道徳について
- ◎人口対策について



林 登 議員

**質問** 本市も富山県IoT推進コンソーシアムに参加し、IoT推進へ向けて取り組みを進めてはいるか。

**企画政策部長**

IoTの推進は、市役所も進んで取り組むべきと考えている。県内企業の動向や、国・県の施策に関する情報を速やかに得るためにも、参加に向けて前向きに検討したい。

**質問** 平成28年度の官民データ活用推進基本法において、国及び地方公共団体はオープンデータに取り組むことが義務づけられた。本年6月の段階では、富山県内で本市のみがオープンデータの公開を一切行っていない状況だった。現在の取り組み状況を問う。

**総務部長**

現在は、市営バスに係る時刻表、料金及び経路検索に必要な情報を公開している。民間事業者などの様々なサービスに活用されることにより、市民の利便性の向上や地域の活性化、新たなビジネスの創出などにつなげていきたい。

**質問** 特別の教科道徳につ

いて、文科科学省の2018年度に実施された教育課程の編成・実施状況調査によると、教師の約8割が道徳教育、特別の教科道徳を含めた評価に関して課題、困難を感じている。市内の小・中学校の現状を問う。

**教育長**

本市では教師に対して、道徳に関する研修を行っており、平成29年度には、調査研究事業として、道徳教育推進委員会を小・中学校各1回、平成30年度も道徳教育推進委員会を小・中学校各1回開催している。今年度も7月に道徳教育推進委員会を開催し、さらに複数回計画実施する中で、多様な指導方法の工夫、あるいは教師間での効果的な指導方法の工夫などをテーマとする研修に取り組む予定としている。



IoT (モノのインターネット)により色々なモノを遠隔操作や遠隔監視ができるようになります。

◎災害時の指定緊急避難場所、指定避難所について  
◎学校給食センターの現状と今後の整備計画について



中田 正樹 議員

**質問** 指定緊急避難場所としての適性については、十分な検証をされているか。

**総務部長** 施設ごとに管理条件、立地条件および耐震条件などについて十分考慮している。洪水ハザードマップの見直しに伴い、浸水想定が拡大されたため、新たに検証が必要となる施設もあると考えている。

**質問** 避難場所の変更があった場合、速やかに掲示看板の内容の変更をすべき。

**総務部長** 団体等とも協力しながら速やかに対応する。

**質問** 公共施設の再編によって指定緊急避難場所、指定避難所が減ることが想定されるが、収容人数等、確保は十分か。

**総務部長** 幾つかの施設の廃止を見込んでいる。民間施設の活用も視野に入れ、必要な措置をしていく。

**質問** 災害時に全ての避難所が十分にその機能を果たすことができるのか。

**総務部長** 全ての避難所が十分に必要な機能を果たせるよう、備蓄資機材などを

計画的に備えていく。

**質問** 学校給食センターは、建屋、設備ともに老朽化が著しく、早急な整備が求められる。現状について、どのような認識か。

**教育委員会事務局長** 建物及び調理用器材等の老朽化が進んでおり、計画的な保守と修繕を実施し、安定して給食を提供できるよう努めている。

**質問** 現時点での整備の方向性については、どのように考えているか。

**教育委員会事務局長** 第7次総合計画において、老朽化による施設整備を課題として認識している。小・中学校統廃合審議会の答申の状況も鑑みながら、新しい学校給食センターの建設候補地を選定し、来年度の前期実施計画のローリング時に、整備の時期や必要な機能について検討する。



昭和52年に建設された学校給食センター



嶋田 幸恵 議員

◎市民の「力」が生きるまちづくりについて  
◎新図書館蔵書計画について  
◎おとぎの館図書室について  
◎女性が住みたいまちづくりについて

**質問** 今年は火牛まつりと消防団消防操法大会が重なっていたが、市民の力を発揮して充実したイベントを展開するためにも、イベントスケジュールを市全体で調整することはできないか。

**市長** 本市で行われているイベントは、市が実施するものと実行委員会などが実施するものがあり、市が関与していないものはスケジュールの把握が難しいのが現状である。火牛まつりについては、スタッフや市民が参加しやすい祭りとなるよう実行委員会の中で検討していきたい。

**質問** 市の審議会等は、仕事の関係で参加できない人が多い。この現状に対する認識と対策について問う。

**総務部長** 本市が開催する会議のほとんどが平日の日に集中する傾向にあり、仕事をしている人や子育て中の人からは参加が困難であるとの意見をいただいている。事前に日程調整を行い、参加しやすい時間帯となるよう周知徹底したい。

**質問** 地区防災会に配備された備品は、古くなり、使用できなくなったものもある。点検が必要ではないか。

**総務部長** 平成8年度から防災資機材を地区防災会に配備してきたが、その現状確認は十分にできていない。自主防災組織連絡協議会を通じて実態の把握に努め、今後の対応を検討したい。

**質問** 新図書館の蔵書計画、基本方針、資料の選定基準について問う。

**教育長** 開架可能冊数は、市民図書館の6万冊を大幅に増やし、10万冊とする。本市に関する地域資料を積極的に収集・保存するとともに、高齢者でも読書を楽しめる大活字本の収集にも努めている。通学者向けにソフトカバーの小説、短い時間でも楽しめる写真集や美術書などを積極的に整備していく計画である。



建設中の新図書館



砂田 喜昭 議員

- ◎環境行政について
- ◎会計年度任用職員制度について
- ◎消費増税中止について
- ◎体育館に大型冷風機を
- ◎高齢者の補聴器について
- ◎コンパクトシティと地滑り地帯の問題について

**質問** 景気が悪く、所得が減少している中で消費税10%増税は中止しかない。  
**市長** 増税反対の声は多いが、上げざるを得ないと思う。単に財政再建のためではなく、社会保障の充実、経済への悪影響を食い止めるよう要望したい。  
**質問** 地球規模でプラスチックゴミが深刻な問題になっている。プラスチックをつくらないという発生源対策が重要だ。日本では燃やして熱回収しているが、真のリサイクルとはほど遠い。  
**民生部長** 分別したプラスチック類の再資源化について、民間業者による固形燃料化をしている。発生抑制には、使い捨てプラスチックの使用削減を目指す。  
**質問** 学校体育館に大型冷風扇を設置してはどうか。  
**教育長** 夏場の災害対応で避難所ともなる体育館の環境充実が必要である。導入事例、費用対効果などを調査研究し、判断したい。  
**質問** 中軽度難聴者のために、補聴器購入への公的補助をしてももらいたい。

**消費税**

10月から消費税が10%に上がりました。

**民生部長** 補聴器は高齢者の生活の質を高めることになる。国・県の動向を把握し、支援制度の導入について調査研究したい。  
**質問** 市の臨時職員は25名で、職種も保育士、言葉の教室専門員、多人数学級支援講師、図書館司書など自治体の本来業務だ。地方公務員法では「公務は常勤職員で」が原則だ。  
**副市長** 会計年度任用職員にかかる条例案を12月議会に提案する予定で、臨時職員の実態把握、勤務条件の制度設計を進めている。

## 市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

(令和元年6月28日～令和元年9月2日まで)

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員 (人)		視 察 内 容
		議員	随員	
元. 7.18	山梨県大月市 (会派)	4	—	・人口減少対策について ・おやべ型1%まちづくり事業について
7.24	宮城県登米市 (産業建設常任委員会)	8	3	・おやべ型1%まちづくり事業について
7.31	長野県須坂市 (会派)	5	—	・おやべ型1%まちづくり事業について
8.21	千葉県鴨川市 (議会運営委員会)	8	1	・議会改革と議会活性化の取り組みについて
	北海道登別市 (会派)	3	—	・おやべ型1%まちづくり事業について

## 12月定例会の日程(予定)

6日(金) 10時 本会議(提案理由説明)

全員協議会

9日(月)

議案調査日

10日(火)

議案調査日

11日(水)

議案調査日

12日(木)

9時 議会運営委員会

10時 本会議(代表・一般質問)

13日(金) 10時 本会議(一般質問)

16日(月) 10時 人口対策特別委員会

14時 民生文教常任委員会

17日(火) 10時 公共施設再編特別委員会

14時 総務産業建設常任委員会

18日(水)

議案調査日

19日(木) 10時 議会運営委員会

委員長会議

13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

※オレンジ色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。

録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。

※市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。詳細については、市議会のHPをご覧ください。



## 閉会中委員会開催状況

### 総務産業建設常任委員会

7月25日開催

\*所管事項について、委員から意見がありました。

- ・良い米づくりを行う上でも、道路の草刈りは重要であるので、草が生い茂っているとところなどについては配慮して欲しい。
- ・市職員の募集に当たり、定住人口増加という観点からも、市外、県外へ小矢部市のPRを兼ねた積極的な情報発信を行い、職員の獲得と定住人口の増加に努めて欲しい。
- ・高齢者が避難所に避難する際の交通手段など、防災組織等と連携を図りながら救済する仕組みを検討して欲しい。



台風19号の際に設営した避難所の様子  
(市民体育館)

## 民生文教常任委員会

8月2日開催

\*所管事項について、委員から意見がありました。

- ・小中学校の統廃合について、小中一貫教育の論点が混同することがないようにしていただきたい。
- ・クラス替えが可能な学校づくりを目指し、小中学校の統廃合について議論をすべきでないか。まずは小中学校の統廃合という目の前の課題に取り組んで欲しい。
- ・統合後も園児は地域行事に参加してもらえないのか。地域との関係性が希薄にならないか懸念している。地域の方と早く協議を行い、方向性を示して欲しい。



小中学校統廃合審議会の取り組みはホームページから確認できます。

## 公共施設再編特別委員会

7月29日開催

当日は、勤労青少年ホームに赴き、現地調査を実施しました。



勤労青少年ホーム

\*所管事項について、委員から意見がありました。

- ・まちなかトイレは、(仮称)石動コミュニティプラザが完成するまでの間、可能な限り使えるよう残してほしい。
- ・石動コミュニティセンターや市民活動サポートセンターが取り壊され、(仮称)石動コミュニティプラザに機能が移転されるが、その間の活動に空白期間が生じることがないよう調整して欲しい。

## 会務報告

令和元年6月28日から令和元年9月2日まで

年月日	件名	摘要	開催地
元. 6.28	一般国道8号整備促進期成同盟会総会	・平成30年度事業報告及び歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について	高岡市
	主要地方道小矢部伏木港線改修期成同盟会総会	・平成30年度事業報告及び歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について	高岡市
7. 1	庄川左岸地区排水対策促進協議会総会	・平成30年度事業報告及び歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について	砺波市
7. 3	日台友好富山県地方議員連盟総会	・平成30年度事業報告、歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	富山市
7. 5	主要地方道砺波小矢部線整備促進期成同盟会総会	・平成30年度事業報告、歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	津沢コミュニティプラザ
7.10	令和2年度重点事業要望	・富山県出先機関	市内、高岡市
7.11	議会だより編集委員会	・第194号発刊について	第二委員会室

## ■ 会務報告 (つづき)

年月日	件名	摘要	開催地
元. 7.12	国道471号整備促進期成同盟会総会	・平成30年度事業報告、歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	砺波市
7.17	令和2年度重点事業要望実施	・富山県庁 ・富山河川国道事務所	富山市
7.22	議会だより編集委員会	・第194号発刊について	第二委員会室
	全員協議会	・全国健康保険協会富山支部との「健康づくりに関する包括協定」締結について	第一委員会室
	日中友好富山県地方議員連盟総会	・平成30年度事業報告、歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	富山市
7.23	能越自動車道建設促進期成同盟会総会	・平成30年度事業報告、歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	高岡市
7.24	令和2年度重点事業要望	・北陸地方整備局	新潟市
7.25	総務産業建設常任委員会	・委員からの意見	第二委員会室
7.29	公共施設再編特別委員会	・小矢部市公共施設長寿命化計画について他1件報告	第二委員会室
7.30	令和2年度重点事業要望	・北陸農政局	金沢市
8. 1	東海北陸自動車道建設促進同盟会定期総会	・平成30年度事業報告、歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について	東京都
8. 2	民生文教常任委員会	・市立図書館の臨時休館等について他3件報告	第二委員会室
	利賀ダム建設促進期成同盟会総会	・平成30年度事業報告、歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について	砺波市
8. 5	砺波地方衛生施設組合議会定例会	・令和元年度砺波地方衛生施設組合一般会計補正予算(第1号) 他2議案及び認定1件	高岡市
8. 6	令和2年度重点事業要望	・国土交通省、農林水産省、総務省、NHK及び県選出国会議員等	東京都
	富山県市議会議長会臨時総会及び県知事との懇談会	・会務報告 ・平成30年度歳入歳出決算 ・北信越市議会議長会評議員会提出議案	射水市
8. 9	日韓友好富山県地方議員連盟総会	・平成30年度事業報告、歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	富山市
8.19	国道359号改修促進期成同盟会総会	・平成30年度事業報告、歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	砺波市
8.21	砺波地方介護保険組合議会定例会	・令和元年度砺波地方介護保険組合介護保険事業特別会計補正予算(第1号)他1議案及び認定3件協議	砺波市
	砺波地域消防組合議会定例会	・令和元年度砺波地域消防組合一般会計補正予算(第1号) 他4議案及び認定1件	砺波市
8.23	岸渡川改修促進期成同盟会総会	・平成30年度事業報告、歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)について	高岡市
8.26	北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県地方議員連盟総会	・平成30年度事業報告及び歳入歳出決算 ・令和元年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について	富山市
8.27	全員協議会	・令和元年度小矢部市総合防災訓練の実施について他1件報告	第一委員会室
	議会運営委員会	・令和元年9月定例会について	第二委員会室

### 編集後記

近年は、地震や台風、豪雨による水害など、大規模な災害が多発しています。自身の身を守るためには、私たち一人ひとりが、「災害はいつでもどこでもやってくる」という意識のもとで、日頃から災害に備えることが大切です。

そのような中、強い台風が2つも東日本を通過し各所に被害をもたらしました。本市でも避難所の開設など市民の安心安全のための行動が、実施されたところでもあり、防災訓練の成果が発揮されたものと思っております。

災害を乗り切るためには、地域での支え合いが必要となります。市議会としても市当局とともに対策に尽力して参りますので、市民の皆さんのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

(議会だより編集委員 義浦記)  
 次回の「議会だより」は、令和2年2月の予定です。